

DVD 完成!

●私たちが運営する「フリースペースえん」に、下村前文部科学大臣が視察に来られたのが2014年10月。この頃から不登校児童・生徒がフリースクールや家庭など学校外で学ぶ機会を保障しようとする国の動きが活発になってきた。そこで焦点が当てられている「学習」とはどのようなものなのか。その質と中身が問われている。「支援」という名のもとに、上から薄っぺらな学習計画などが押し付けられるようなことがあってはならない。フリースペースにおける「学び」について、ともに理解を深めたい。

NPO 法人フリースペースたまいぼ 25 周年記念シンポジウム

ともに生き、ともに学ぶ

学校の中に「居場所」が見つからない子どもたちが、多摩川（タマリバー）のほとりの小さなアパートに集まった。年齢はバラバラ。障がいがある子もない子も、やんちゃな子もおとなしい子も。そこで出会い、一緒にお昼ごはんをつくって食べ、遊び、音楽を奏で、語り合った。混沌とした日々の暮らしの中で、ぶつかり合い、悩み、笑い、喜び、力をもらいあった。ゆったりとした時間の流れの中で、さまざまな失敗を積み重ねながら、子どもたちは成長していった。そこは豊かな学びにあふれていた。あれから25年。私たちが取り組んできた居場所づくりとはどういうものだったのか。そこで子どもとおとながどのようにしてともに育ち、多様に学びあう暮らしの場をつくってきたのか。皆さんとともに分かち合いたいと思います。

第一部 「居場所のもつ力」



山口由美子 山下英三郎

西鉄バスジャック事件被害者「バクの会」元共同代表
「ハッピービバーク」・親の会 日本スクールソーシャル
「ほっとケーキ」代表 ワーク協会名誉会長



第二部 「ともに育ち、学びあう」



加藤彰彦

元横浜市小学校教諭
寿町生活館・児相職員
前・沖縄大学学長



荘保共子

NPO 法人こどもの里理事長
(一社)日本ファミリーホーム
協議会近畿ブロック代表

<コーディネーター 西野博之>

100 枚限定販売

●昨年2月、川崎で起きた中学1年生死亡事件。なぜ、私たちおとなは被害少年のSOSに気づくことはできなかったのか。また、事件当時17・8歳だった加害少年たちは、なぜこのような事件を起こしてしまったのか。被害・加害双方にとって、家庭・学校・地域の中に居場所はなかったのだろうか。このような痛ましい事件が2度と起こらないように、私たちにできることは何なのか。ともに考える場としたい。

NPO 法人フリースペースたまりば 25 周年記念シンポジウム



ともに生き、ともに学ぶ

＜DVD版 2 枚組＞ 1セット 1,000 円

お申込みあたり

- ・必要事項をご記入のうえ、ファックスもしくはメールでお申込みください。
- ・メールの場合は、必ずタイトルに「ともに生き、ともに学ぶDVD申込み」とお書きください。
- ・お申し込みを確認次第、振込用紙を同封して発送いたしますので、それをお使いになって、お振込みください。

お問い合わせ先 NPO 法人フリースペースたまりば

TEL 044-833-7562 E-Mail freespace@tamariba.org

ともに生き、ともに学ぶ＜DVD版 2 枚組＞申込み書

NPO 法人 フリースペースたまりば 宛

FAX 044-833-7534

氏名： _____ () セット

送付先： 〒 _____

電話： _____ () FAX： _____ ()

E-Mail： _____